

キャリア教育全体計画

1 キャリア教育の捉え

※「**立場で育てる教育**」（キャリア発達を促す教育活動）

「素」の自分ではなく、責任を帯びた「**立場**」に身を置く中で、
役割を担い、役目を果たす過程を通して、
能力の伸長や価値観の変容を促す教育活動

2 伸ばしたい資質・能力

【**共感力**】（相手の心情の想像、アサーティブな対応など）

【**思考力**】（実態把握、要因分析、手段・方法の吟味）

【**段取力**】（スケジュール調整、優先順位の判断、人員の配置と分担、効率化など）

【**対応力**】（コミュニケーション能力[伝え方]、人員の調整、変更する判断など）

3 キャリア教育として、教育活動に求められる要件

(1) **リアリティー**がある教育活動（生徒の **問題意識** と **価値付け**）

(2) **ストーリー**がある教育活動（生徒の **チャレンジ** と **変容**）

生徒自身が、「大切にしたい」「充実感がある」と思える活動

※ 生徒が、このように感じるように、教師が手立てを講じるということ（仕込み）

4 具体的な取組

(1) 「リアリティー」と「ストーリー」のある総合的な学習の時間の編成

■ 「立場で育てる」教育活動のためのテーマ設定

■ 行事等をキャリア発達の手段として設定

	4月～6月 [7月初]	7月～9月 [9月末]	10月～11月 [11月初]
柏葉A	合唱コンクール (宝山ホール)	体育大会	文化祭

柏葉B	・ 集団宿泊学習、働く大人との対話の時間（1年） ・ 修学旅行、立志式（2年） ・ 職場体験活動（3年）
-----	--

(2) 生徒の発想や決定が活かされる生徒会活動や学級活動（学年・学級生徒会）

■ 役目と役割を考えて行動する生徒会専門部の活動

■ 生徒と教師が価値を共有する学級運営委員会（放課後）

	4月	5月～3月
柏葉C	学級開き	専門員委員会活動（学級、学年、学校生徒会）

(3) 生徒が、自分のキャリア発達を感じることができるキャリア・パスポートの活用

■ 日常的な活動を記録し、自己の変容を実感できるポートフォリオ